

# 全身状態不良進行肺がん症例に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年7月31日～2025年12月31日

## 〔研究課題〕

Performance Status (PS) 不良進行肺がん症例の治療薬選択に関する臨床因子の検討

## 〔研究目的〕

進行肺がん患者さん、特に全身状態不良症例の治療薬選択に関する患者さんの背景を明らかにすることを目的とします。

## 〔研究意義〕

全身状態不良の進行肺がん患者さんに対するよりよい治療を開発することに繋がります。

## 〔対象・研究方法〕

2012年1月～2020年6月までに全身状態が不良である進行肺がん患者さんに対して行った治療内容を診療録から振り返り、全身状態の中でどのような因子（全身状態が悪くなった理由、がんの状況、腫瘍マーカー・貧血の程度・炎症反応など）が治療薬剤の選択に影響するのかを明らかにします。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究目的での臨床データの利用であり、個人を特定するような情報は発表しません。

対象となる患者さんで、検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：教授 関順彦

研究分担者：講師 市川靖子

所属：帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7942〕